

次世代経営研究会実施報告



幅広い事業領域を有するメーカーとしての 経営課題とその対策

事業部会経営委員会
次世代経営研究会運営委員会

1. はじめに

2021年8月20日（金）に「次世代経営研究会第4回定例会」をTeamsによるリモートの形式で開催した。参加者は関係者を含めて30名であった。

今回は古河電気工業（株）研究開発本部サステナブルテクノロジー研究所解析技術センター主査の石川卓哉氏をお招きして、「幅広い事業領域を有するメーカーとしての経営課題とその対策」の演題でご講演いただいた。古河電気工業は100年を超える長い歴史を有し、素材を中心とした事業において「お客様の期待する品質を実現しよう！」のスローガンのもと常に「ものづくり力の向上」に努めて来た。時代と共に事業分野が大幅に拡大したことに加え、お客様の期待する品質は特に近年変化しつつある。その結果、近年では「ものづくり力の向上」に対する難易度が上がっている。この課題を分析し、その解決に向けた取り組み事例をご紹介いただいた。

さらに講演後にそれを受けてパネルディスカッションを行った。その概要を報告する。

2. 開会挨拶：品質工学会・会長 椿広計

次世代経営研究会も第4回を迎えることができた。私自身は統計数理研究所長という形でメソッドを中心に考えている人間である。品質工学会も田口玄一名誉会長が築かれた品質工学という学理、方法論を普及・啓発することがミッションであったわけだが、谷本勲前会長のリーダーシップのもと、品質経営も含めた、技術的な経営、次世代の経営をき

っと考えて、より一層、我が国の産業界の基盤というものを明確にしていく、そのために産業界の現在進行形のこと、これから考えないといけないことについて、3回にわたる次世代経営研究会の中で議論できたと思っている。今日は第4回ということで「幅広い事業領域を有するメーカーとしての経営課題とその対策」について、古河電気工業の石川氏にご講演いただいた後で、品質工学会の浜田和孝副会長、武重伸秀副会長、この研究会の立ち上げでリーダーシップを取った谷本前会長、さらに今後の経営の研究ということで石川氏のご講演に関係する、三菱ケミカルの宗平氏に入っただき、非常に幅広い討論ができると思っている。研究会という形で、次世代の経営に関して自由な議論を戦わせていく、考えていく、そして一つの方向を示していく場であると承知している。それは、品質工学会の今後を左右する非常に大事な場であるので、是非ご参集いただいた方が積極的に討論に参加いただいて自由な討論の場としていただくことを期待している。今日は新しい試みとして、定例会後の18時15分以降にフリーディスカッションという場も設けた。コロナという時代の中で、今までのような対面型のコミュニケーションができない状況だが、一切制約のないコミュニケーションの場として、皆様方に楽しんでいただいで、次世代に向けた経営を考える場として、意義のあるものにしていただければと思う。今日の講演および討論、企画の方々に感謝するとともに、有意義な時間となることを祈念する。